

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-1 地盤の支持性能について）

	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
		<p>補足-600-1【地盤の支持性能について】</p> <p>目次</p> <ol style="list-style-type: none">概要基本方針評価対象施設周辺の地質等<ol style="list-style-type: none">評価対象施設周辺の地質評価対象施設周辺の地質状況整理結果敷地の地下水位分布及び耐震評価における地下水位設定方針<ol style="list-style-type: none">敷地の地下水位分布耐震評価における設計用地下水位設定方針地盤の解析用物性値<ol style="list-style-type: none">設置変更許可申請書に記載された解析用物性値設置変更許可申請書に記載されていない解析用物性値<ol style="list-style-type: none">有効応力解析に用いる解析用物性値その他の解析用物性値地盤の物性のばらつきについて極限支持力地盤の速度構造<ol style="list-style-type: none">入力地震動の設定に用いる解放基盤モデル	<p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違 （東海第二では強制的に液状化させることを仮定した検討を実施。女川では該当なし）</p> <p>設計方針の相違 （女川では、極限支持力は支持力試験に基づいており、一部道路橋示方書による支持力算定式を使用）</p> <p>記載表現の相違 （なお、女川は硬岩サイトであり、原子炉建屋基礎底面と解放基盤表面が同一）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

■：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-1 地盤の支持性能について）

	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
		参考資料1 地下水位の観測データ	<p>設計方針の相違 （女川では施設周辺の第四系は建設時に大部分を掘削して盛土に置き換えており、第四系は解析用物性値のとおり拘束圧に基づく初期剛性を定義し、速度構造モデルを設定していない）</p> <p>設計方針の相違 （女川では施設周辺の第四系は建設時に大部分を掘削して盛土に置き換えており、第四系に速度構造モデルを設定していない。また、岩盤の速度層構造については設置変更許可段階で提示済み）</p> <p>地下水位の設定方針については参考資料2～6に記載</p> <p>設計方針の相違 （女川では施設周辺の第四系は建設時に大部分を掘削して盛土に置き換えており、第四系を細分化しておらず、解析用物性値の代用はなし）</p> <p>設計方針の相違 （女川では該当物性値なし）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

黄色：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-1 地盤の支持性能について）

	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
		<p>参考資料 2-1 水位評価用モデルの作成</p> <p>参考資料 2-2 浸透流解析に用いる透水係数の設定根拠</p> <p>参考資料 2-3 地下水位の上昇により生じる影響評価結果</p> <p>参考資料 2-4 集水機能の信頼性に係る詳細検討フローによるドレーンの有効範囲の設定結果</p> <p>参考資料 2-5 土木構造物における設計用地下水位の設定方法</p> <p>参考資料 3-1 地下水位低下設備の概要</p> <p>参考資料 3-2 既設ドレーンの概要</p> <p>参考資料 4-1 地下水位低下設備の目的、機能及び位置付け</p> <p>参考資料 4-2 地下水位低下設備の多重性及び独立性を確保した設計について</p> <p>参考資料 4-3 地下水位低下設備の機能喪失時の措置について</p> <p>参考資料 5 ドレーンの部分閉塞時の自由水面の保持について</p> <p>参考資料 6 観測水位による検証結果</p> <p>参考資料 7 屋外の評価対象施設における液状化検討対象施設の抽出結果について</p> <p>参考資料 8 地盤改良における補足</p> <p>参考資料 9 液状化強度試験の詳細について</p> <p>参考資料 10 盛土の均一性について</p>	<p>設計方針の相違 （女川では地下水位低下設備の機能を考慮して設計用地下水位を設定）</p> <p>記載表現の相違 （解析用物性値の設定については設置変更許可段階で提示済み。物性値のばらつきについては参考資料 12 に記載。品質確認方針については先行サイト審査を踏まえて記載済み）</p> <p>設計方針の相違 （追加した盛土の液状化強度試験の結果を含む）</p> <p>設計方針の相違 （盛土の施工時に材料管理及び品質管理により均一な品質を確保していることの説明。内容は設置変更許可段階の資料と同じ）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

■：前回提出時からの変更箇所

2020年8月24日

02-補-E-24-0004_改0

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-1 地盤の支持性能について）

	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
		参考資料 11 2011年東北地方太平洋沖地震における沈下実績について	設計方針の相違 （2011年東北地方太平洋沖地震における盛土等の沈下実績について整理・考察したもの。内容は設置変更許可段階の資料と同じ）
		参考資料 12 地震応答解析にて考慮する地盤物性のばらつき	設計方針の相違 （防潮堤及び防潮壁の杭基礎のモデル化におけるばね等のモデル化条件については、各施設の補足説明資料に記載予定）